

令和6年度第2回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和6年5月8日 13時00分～13時38分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee 総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長、土澤宮古事務局長

[事務局]

高橋総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査、伊藤主事

4 会議の概要

議事録確認

前回会議4月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり承認された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

（1）令和5年度岩手県立大学の就職内定状況（3月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。公務員の内定が令和4年度に比べて減っているが、令和4年度は過去最多の人数であり、令和5年度はコロナ禍前の水準と同程度であるとの補足説明があった。

（2）令和6年度地域協働研究の採択課題の決定について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。
委員から、研究報告会を開催するか否かについて質問があり、亀田研究・地域連携本部長から、コロナ禍以前は対面による報告会を開催しており、今年度は数年ぶりに対面型の報告会を行う予定であるとの説明があった。
これについて、委員から、報告会の場で関係者の交流が図られるとよいとの発言

があり、学長から、市町村の交流により、複数の市町村が連携して地域課題を提案するようになるるとよいとの発言があった。

(3) 岩手県立大学データサイエンス・リカレント教育プログラム（自治体向け）の実施について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、昨年度開催したプログラムが好評であったことから、録画を市町村に提供することを考えているとの発言があった。

(4) 令和5年度 Aprin e-ラーニングの履修状況について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 全学競争研究費の公募開始について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。これまでとの変更点として、研究期間は最長3年、研究費は1年当たり最大200万円であったが、研究期間は1年、研究費は最大100万円とすること、科研費に申請した研究課題は不可としていたが、科研費不採択となった研究課題をブラッシュアップして申請することは可とするとの補足説明があった。

(6) 令和6年度学内情報システム整備事業について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、Microsoft365の利用は必須かとの質問があり、猪股企画本部長から、アカウントは全教職員に配付するが、利用を強制するものではないとの説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和6年度岩手県高等学校長協会・岩手県立大学教育懇談会の開催について
- (2) 令和6年度前期「数学学習相談室」の開設について
- (3) 「いわて高等教育コンソーシアム」令和6年度学内体制等について
- (4) 令和5年度 宮古短期大学部ライブラリー・アテンダント（MLA）活動報告
- (5) 令和6年度安否確認システム報告訓練の実施について
- (6) 令和6年度臨時託児の利用登録申込について
- (7) 令和6年春の叙勲受章について

(2)について

委員から、学習支援を要する学生は増えており、特定の科目の支援は効果的な取組であると考え、他大学でも、英語でつまづいた学生に対して退職教員が学習支援室で支援をする取組を始めたこと、今後、データサイエンス・AI教育を全学的に展開していくことが国から求められると見込まれるが、情報教育は大学入学前の学習状況が県内でも差があることから、入学後の支援が求められるようになるとの発言があった。

(1) (3)について

委員から、資料報告(3)のいわて高等教育コンソーシアムではこれまで様々な取組を展開し、教育プログラムに参加した学生からは高評価を受けているが、コンソ自体の認知度が低いため、資料報告(1)の高等学校長協会等との懇談会の場などを活

用して周知を進めてほしいとの発言があった。

委員から、地域課題に興味を持つ高校生もいると考えられることから、口頭報告(2)の地域協働研究の成果なども、資料報告(1)の高等学校長協会等との懇談会のような場を活用しながら高校に向けて発信するといいいのではないかとの発言があった。

その他

佐藤企画室長から、次回の会議について、6月5日(水)13時00分から開催するとの説明があった。